

復興へ、ともに

(53)

このコーナーでは全国の地方公共団体から
南三陸町に派遣されている職員を紹介します。



【氏名】吉玉 賢司

【派遣元】宮崎県 門川町

【所属】復興事業推進課（住宅再建支援係）

10月より宮崎県門川町から派遣され、住宅再建業務を担当しています。私の派遣元も南三陸町と同じリアス式海岸で、また漁師町ということもあり、風景や環境が非常に似ていて親しみを感じているところです。縁あって今回南三陸町へ来ることができました。これからも微力ながら町民の皆様の復興に尽力させていただきたいと思います。



【氏名】吉野 裕紀

【派遣元】宮城県 白石市

【所属】産業振興課（農林業振興係）

こけしとうめん（そうめんとは違います！）の有名な？白石市から派遣され、農林業の担当をしています。同じ宮城県人ということもあり、すぐに南三陸町になじむことができました。今年度も残り少なくなりましたが、引き続き精一杯頑張りたいと思います！



【氏名】佐々木 裕樹

【派遣元】宮城県 仙台市

【所属】復興事業推進課（公営住宅整備係）

昨年5月に仙台市より派遣職員として参りました。仙台市では災害公営住宅の整備等に携わってきました。その経験を活かし、一日でも早く、より良い住まいの提供をできればと思います。

文化財探訪

文化財を見て歩こう！

町指定有形文化財（考古資料）

三筋壺（さんきんこ） 歌津字伊里前 南三陸町民俗資料館

三筋壺は、横三本の筋が表面にほらされているところから名づけられた壺で、弥勒菩薩が釈迦入滅から56億7千万年後、命あるもの全てを救済するためにこの世へ現れるまで仏法の經典を保存しようと埋納したタイムカプセルであると考えられています。

昭和46（1971）年、田東山経塚群で発掘調査が行われ、そこから出土した破片を復元したところ、平安時代の三筋壺であることが確認され、貴重な平安時代の歴史資料として町の文化財に指定されました。この壺は愛知県知多半島常滑地方で産する「とこなめ焼」で、表面一体には釉錆（うわぐすり）がみられます。



ご存知ですか？ 文化財保護のこと

土地に埋もれている昔の建物跡やそれに伴う土器・石器などは町の大切な文化財です。一旦壊してしまえば二度と元に戻すことができません。これから住居の新築や土地の造成・改良などをお考えの場合は、必ず教育委員会にご一報ください。

問い合わせ

教育委員会生涯学習課文化財担当
☎46-2639 FAX 46-2607